

# 1 身の周りの危険箇所を知っていますか？

## ハザードマップ



土砂災害ハザードマップの一部

ハザードマップは、がけ崩れや洪水の恐れがある場所や避難する場所を地図上にまとめて示したものです。家族や地域で災害に関して話し合う際の資料として活用してください。

### ハザードマップで確認すること

**チェック 1** 自宅とその周辺、通勤・通学経路などの危険箇所を確認し、災害リスクを把握しましょう。

**チェック 2** 近くの避難場所を確認し、避難場所までの安全な経路を決めておきましょう。



### ハザードマップの入手方法

ハザードマップは、危機管理課で配布しているほか、市のホームページからも見ることができます。



土砂災害  
ハザードマップ



洪水ハザードマップ

次の地域の土砂災害ハザードマップを更新しました  
出口町・府中町、元町・鶉飼町・桜が丘、  
広谷町・中須町、本山町、土生町、用土町

## ひろしま3DマップDoboX

県が運用するDoboX（ドボックス）では、災害リスク情報やインフラ情報などを3DマップやGIS上で確認できます。



DoboXポータルサイト

GIS…位置に関するさまざまな情報を持ったデータを電子的な地図上で扱う情報システム技術の総称。

# 2 どこに避難すればいいの？

避難とは、自分の命を守るために安全を確保することです。避難場所へ行くことだけが避難ではありません。自宅が安全な人は自宅、安全な親戚・知人宅、ホテルなどの宿泊施設、市や地域が開設する避難場所、高台の開けた駐車場への車での避難など、自身の状況にあった避難方法を選択しましょう。



### 市が開設する避難場所一覧

- 国府公民館
- 上下町民会館
- クルトピア栗生
- 上下南小学校体育館
- リ・フレ
- 栗生小学校体育館
- 南小学校体育館
- 第一中学校体育館
- 生涯学習センター
- 府中明郷学園第二体育館
- 阿字スポーツグラウンド体育館
- 広谷保育所
- クルトピア明郷
- 府中天満屋駐車場（車での避難のみ）
- 府中学園体育館



※地域が開設する避難場所も確認し、いざという時のために複数の避難先を考えておきましょう。

# 3 避難のタイミングは？

命を守るためには、日頃から気象情報などを確認し、早めの避難ができるように準備をしておくことが大切です。避難のタイミングは、市が発令する避難情報や気象庁ホームページのキキクルを目安に判断してください。



## キキクル（危険度分布）

気象庁が提供する防災情報で、大雨による災害の危険度を5段階で色分けし、地図上にリアルタイム表示します。



気象庁ホームページ  
キキクル

### 参考 キキクルで過去の災害事例の状況を見てみよう

平成30年7月豪雨時の状況  
(平成30年7月4日～7月8日)



平成30年豪雨時の府中市の  
1時間雨量は最大37.5mm。  
1時間雨量が30mm以上のときの  
雨の降り方はどんな感じ？

## 雨の降り方と強さ

1時間雨量が30mm以上～50mm未満の場合



**人への影響**  
傘をさしていても濡れます



**屋内**  
寝ている人の半数くらいが  
雨に気付きます



**屋外の様子**  
道路が川のようになります



**車に乗っていて**  
高速道路などで、車輪と路面  
の間に水膜が生じてブレーキ  
が効かなくなります

気象庁リーフレット「雨と風」より

## 府中市が発令する避難情報

川沿いに住んでいる人は川の状況、  
山際に住んでいる人は土砂災害に特に注意を！

警戒 レベル	避難情報等	発令の目安		住民がとるべき行動
		洪水等	土砂災害	
高	5 緊急安全確保	▷堤防に決壊または越水の恐れが高まった場合 ▷芦田川や中小河川の危険度分布が黒になった場合	▷大雨特別警報が発表された場合 ▷土砂災害が発生した場合	命を守る最善の行動
危険度	4 避難指示	▷氾濫危険水位になった場合 ▷危険度分布が紫になった場合 ▷八田原ダムで異常洪水時防災操作移行の予告（1時間前）があった場合 ▷御調ダムで非常用洪水吐から越流の予告（1時間前）があった場合	▷土砂災害警戒情報が発表された場合 ▷土砂災害危険度情報が紫になった場合	危険な場所から全員が避難
	3 高齢者等避難	▷避難判断水位になった場合 ▷危険度分布が赤になった場合 ▷八田原ダムで異常洪水時防災操作移行の予告（3時間前）があった場合 ▷御調ダムで非常用洪水吐から越流する恐れがある場合	大雨警報（土砂災害）が発表され、かつ警戒レベル3相当情報[土砂災害]の危険度情報が赤になった場合	危険な場所から ▷高齢者等は避難 ▷他の住民は避難準備
低				

※上記以外にも、強い降雨を伴う前線や台風などが夜間から明け方に接近・通過することが予想されるときなど、避難情報を発令する場合があります。